

福井県福井市

ニット生地の製造技術を医療製品の開発に応用、新たな事業分野の需要を開拓

ニット生地の製造メーカーとして、婦人紳士衣料、スポーツウェア、資材用途等、あらゆる生地の開発・製造を手掛ける。ラグビーワールドカップ2019の日本代表フワード用ユニフォームにも同社の生地が採用された。創業以来75年間培ってきた「編み」の技術を生かし、近年は医療製品の開発に注力している。「心・血管修復パッチ」は疾患のある小児の身体の成長に合わせて伸長する特性を持ち、2019年に臨床試験を開始した。

●所在地	福井県福井市西開発3丁目519-3	●設立	1944年
●電話/FAX	0776-54-3602/0776-54-3692	●資本金	8,000万円
●URL	http://www.fukutate.co.jp	●従業員数	90人
●代表者	代表取締役社長 高木 義秀		



あらゆる機能性素材を製造する、経編業界のトップランナー

創業以来ニット生地の製造を手掛け、ストレッチ性を誇る「ハイテンション」シリーズは20年以上続くロングセラー商品である。婦人紳士衣料をはじめ、スポーツウェア、ユニフォーム、車輻用内装材、資材用途まで、あらゆる機能性素材の開発を行っている。ラグビーワールドカップ2019の日本代表のフワード用ユニフォームにも同社の生地が採用され、前回大会より12%の軽量化、9%の耐久性向上を実現した。



ラグビーワールドカップ2019のユニフォーム

「衣料」から「医療」へ、編み技術を医療製品に応用

新規事業として医療製品の開発に着手し、世界で初めて、疾患のある小児の身体の成長に合わせて一緒に伸長する特性を持つ「心・血管修復パッチ」を開発した。これまで必要であった再手術を回避し、患者の負担を軽減する。池井戸潤氏の小説「下町ロケット ガウディ計画」に登場する新技術のモチーフとなり、テレビドラマにも協力した。2019年5月に臨床試験を開始し、経過は順調である。また、福井大学医学部と産学連携し、低摩擦で通気性が良く床ずれを予防する「褥瘡予防ベッドシート」の開発を進めている。



心・血管修復パッチイメージ

医療製品量産に向けた、製造体制と品質管理体制の構築

「心・血管修復パッチ」の量産に向けて、医療製品専用のクリーンルームを設置した。また、製造プロセスを管理する「医療推進プロジェクトチーム」を新設し、医療機器の品質マネジメントシステムISO13485:2016の認証を取得した。製造体制、品質管理体制に万全を期し、高付加価値の製品を新たな事業の柱とする。工場では編みあげた反物を検査出荷場まで自動搬送するロボットの導入、生産スタッフの多能工化等によって生産性を向上させている。



編立工場全体